

コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～
その38 大変なときだからこそ



猪俣 恭子
中央大学文学部卒
卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで行内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年 Coaching Press 株式会社を設立、代表取締役として現在に至る。
国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ
財生涯学習開発財団認定マスターコーチ
コーチ21CTPクラスコーチ
米国CCE,Inc.認定 GCDF-Japan キャリアカウンセラー

はじめに、「東北地方太平洋沖地震」の被災地の皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、お読みになっている皆さまの中にも地震による影響、被害を受けられた方がいらっしゃると思います。心よりお見舞い申し上げます。

いまだかつてない危機的状況にあって、私自身においている変化のひとつに、こんなことを感じています。それは「なぜ？」という問いがやたら多くなっているということです。例えば、

スーパーに行けば、「なんでこんなに品物が少ないんだろう？」に始まり、

駅のホームに立てば、「なんで電車が遅れているんだろう？」

自宅にいて地震がくれば、「なんでまた余震なんだろう？」

帰路につけば、「なんでお店が閉まっているんだろう？」

挙げ句の果てには、「なんで猫はあんなふうに通をつきまらなんでしょう？」(苦笑!)と、もう「なんで、なんで」づくしです。それで何か建設的な考えや行動が生み出されるかといえば、もちろんそんなことはなく、いやあ～な気持ちももやもや～と残るだけです。

さて今回仕事のキャンセルがあり、空いた時間でたまった資料の整理をしていましたところ、はっとした記事がありましたので、紹介したいと思います。

91年に台風が青森を襲い、9割のりんごが落ちてしまったことがあった。

多くの生産者農家が悲嘆にくれている中、何かできることはないかと考え続けていた農家があった。

そして、その農家は落ちなかつたりんごを「落ちないりんご」と命名し、受験生を対象に一個1000円で販売するというアイデアで大ヒットを生み出した。

もちろん今の状況と比べられるものでもないと思います。しかし、今までにあって最大のピンチだった状況と、その生産者がどう向き合ったかという意味では、私は勇気を感じました。きっとその生産者は、「なんで自分たちばかりこうなるんだ。なんで台風がくるんだ。」という問いに振り回されていなかったはず。きっと、「確かに今の状況はひどい。しかし、この機会を好機ととらえることができた

ら、何ができるだろうか?」「長いスパンで考えたときに、この出来事は私たちにとってどのような意味を持つだろうか?持たせたいだろうか?」こんな問いをしていたからこそ、このようなアイデアが思いついたのではないのでしょうか?

「わかっているよ。けどね、現実にはそんなに甘くないんだよ。」そんな声も聞こえてきそうですね。いいんです。時には他人のせい、環境のせいにして、ふつふつした気持ちを思いっきりはきましよう!愚痴その場限りなのです。けれどもくれぐれも会社内ではなくご自宅で。役職についていらっしゃる方は、他の社員への影響力がとてもありますから。

ところで、地震があった三日後の夜、コーチトレーニングプログラムのクラスを停電や余震を気にしながら綱渡り状態で実施しました。参加者の一人に、飲食品関係の仕事をしている方がいて、その方は、なんとその日の夜、東京から仙台市に営業所支援のために入ったとのことで、危機的な臨場感がひたひたとせまってくる感じがいたしました。なぜ、そんな大変なときにクラスに参加されたのかというと、「こんな時だからこそ、社員が明るく未来を考えられる質問ができるようになりたい。そして、社員がこういふなかで自分で考えながら臨機応変に行動できるように成長してほしい。」とのこと。しみじみと感じ入りました。

私たちは、本当に大変な局面にいます。この「大変」という字。あらためて見てみると「大きく変わる」そんな意味もあるようです。ある意味私たちは「大」きく「変」わるチャンスをもたらしているのかもしれませんが。未来は予測はつきませんが、描くことは自由にできます。だからこそ、最悪のシナリオも考えて、もっと最悪を考えて、そして明るく解決していきたいと心から思います。

今を未来に建設的につなげる質問を自分に問いかける、そして社員たちにもそんな質問を問いかける。そうするとテレビでよく流れている「今だからこそできること」に私たちは自然にアクセスできるのだと思います。「今」このときを、懐かしく振り返られる「過去」の一ページに必ずやしていきましょう!



コーチングプレス株式会社

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162

<http://www.coaching-press.com/> (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)